

株式会社SBI証券

決算説明資料

～ 2024年3月期 通期 ～

2024年5月10日

本資料に掲載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なく変更または廃止される場合がありますので、予めご承知おきください。

＜決算概況＞ 2024年3月期 通期業績

(単位:百万円)

	2023年3月期 通期 連結 (2022年4月～2023年3月)	2024年3月期 通期 連結 (2023年4月～2024年3月)	前年同期比 増減率(%)
営業収益	175,053	過去最高 203,398	+16.2
純営業収益	161,570	過去最高 182,752	+13.1
営業利益	62,130	過去最高 68,686	+10.6
経常利益	60,951	過去最高 69,553	+14.1
親会社株主に帰属 する四半期利益	41,467	過去最高 47,381	+14.3

<決算概況> apples-to-applesの主要証券会社の2024年3月期 通期業績比較

(単位:百万円)

		営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
1	野村証券(単体)	148,901	148,771	104,306
2	大和証券(単体)	84,034	86,369	57,186
3	三菱UFJMS証券(単体)	69,357	71,860	54,499
4	SBI証券(連結)	68,686	69,553	47,381
5	みずほ証券(単体)	43,054	42,304	60,952
6	楽天証券※1(連結)	29,619	29,386	18,360
7	SMBC日興証券(単体)	24,630	36,158	26,832
8	岡三証券G(連結)	16,111	18,061	13,167
9	東海東京FHD(連結)	15,304	18,397	10,189
10	松井証券(非連結)	15,165	15,054	9,790
11	GMOFHD※1(連結)	15,028	14,412	8,191
12	マネックスG※2(連結)	12,149	47,170	31,293
13	岩井コスモHD(連結)	7,600	8,003	5,544
14	auカブコム証券(非連結)	4,869	4,864	2,609
15	丸三証券(連結)	3,694	4,187	2,925
16	極東証券(連結)	2,951	3,706	4,341
17	いちよし証券(連結)	2,803	2,875	1,929
18	水戸証券(連結)	2,391	2,803	2,336
19	アイザワ証券G(連結)	1,159	1,941	2,975
20	東洋証券(連結)	1,153	1,437	1,305

※1 楽天証券およびGMOフィナンシャルホールディングスについては、12月決算期の会社であるため、2023年4月～2024年3月の期間での数値を使用

※2 マネックスグループはIFRSであり、営業利益は営業利益相当額の値を、経常利益は税引前利益の値を使用

※3 各社の営業利益順に記載 出所:各社WEBサイト等の公表資料より当社集計

<決算概況> 四半期毎の業績推移

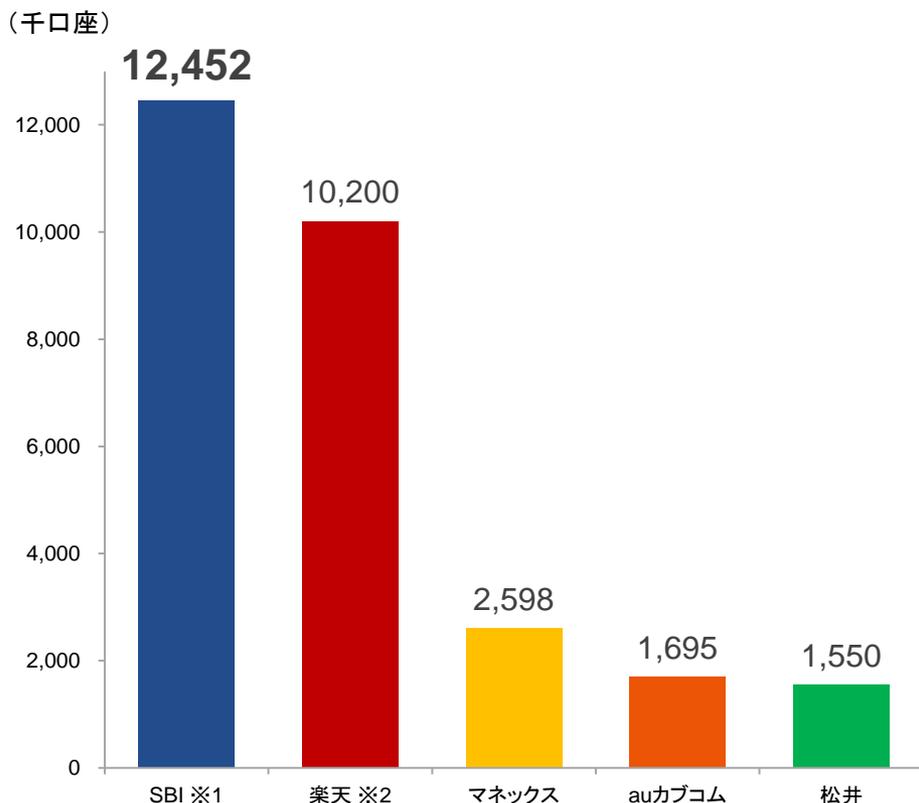
(単位:百万円)

項目	2023年3月期				2024年3月期				前四半期比 増減率(%)
	第1四半期 (22年4~6月)	第2四半期 (22年7~12月)	第3四半期 (22年10~12月)	第4四半期 (23年1~3月)	第1四半期 (23年4~6月)	第2四半期 (23年7~9月)	第3四半期 (23年10~12月)	第4四半期 (24年1~3月)	
営業収益	38,133	42,706	45,745	48,469	51,050	51,040	49,643	51,664	+4.1
純営業収益	35,444	39,334	42,242	44,549	45,328	46,502	44,977	45,944	+2.1
営業利益	12,161	14,185	17,784	17,998	18,399	18,645	16,122	15,518	▲3.7
経常利益	12,104	13,149	17,675	18,021	18,735	18,832	16,496	15,488	▲6.1
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	8,484	8,800	12,649	11,532	13,097	12,534	10,589	11,160	+5.4

主要インターネット証券口座数比較

- インターネット証券初の1,200万口座を突破。

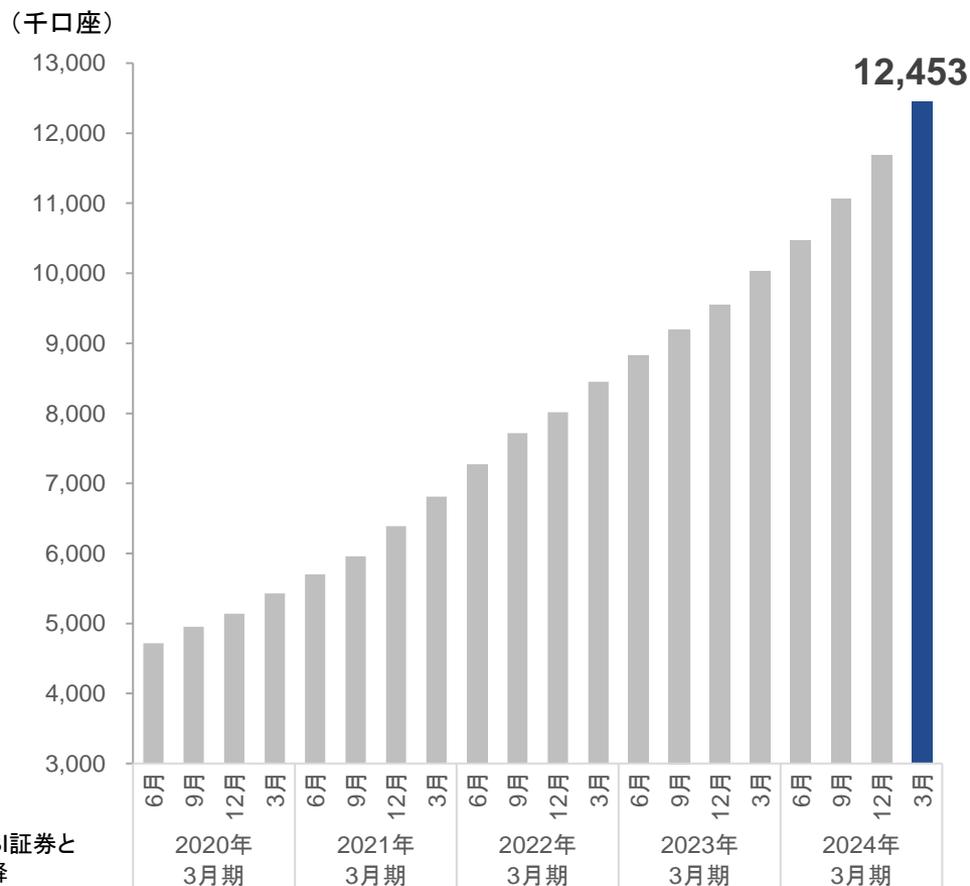
＜主要インターネット証券5社の口座数＞ (2024年3月末時点)



※1 SBIの口座数には、2019年4月末以降SBIネオモバイル証券(2024年1月9日、SBI証券と合併)の口座数、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の口座数、2021年8月末以降FOLIO口座数を含む

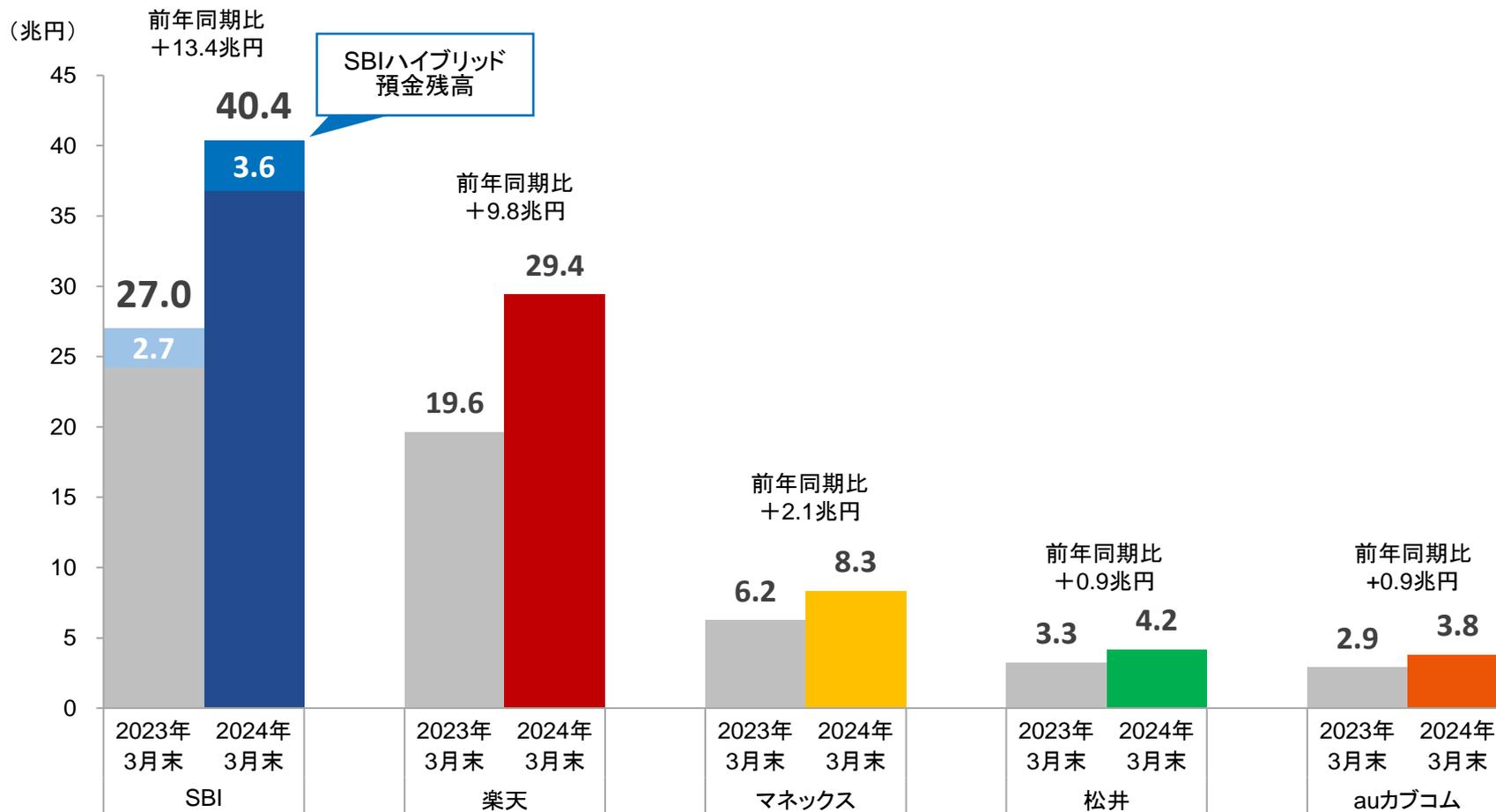
※2 楽天証券の口座数は、2023年12月末の数値
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

＜口座数推移＞※1 (各月末推移)



主要インターネット証券の預り資産残高比較

- SBIハイブリッド預金残高を含めると、SBIの2024年3月末預り資産残高は前年同期比49.6%増の約40.4兆円。



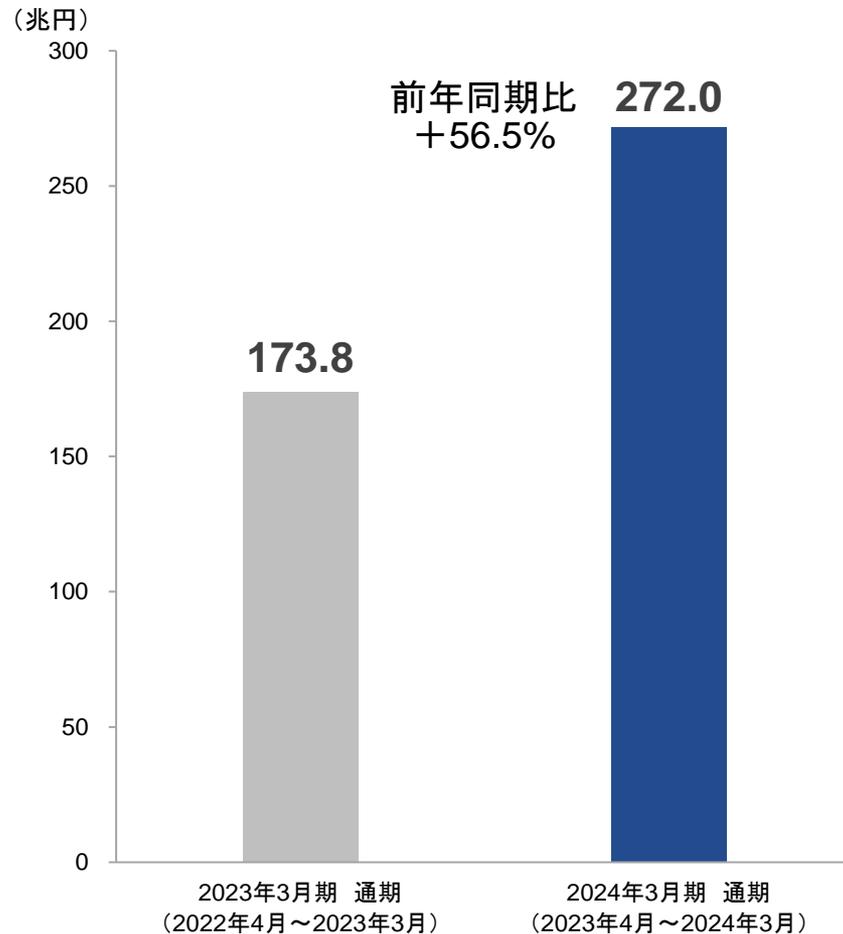
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

※SBIの預り資産残高には、2019年4月末以降SBIネオモバイル証券(2024年1月9日、SBI証券と合併)の預り資産残高、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の預り資産残高、2021年8月末以降FOLIO預り資産残高を含む

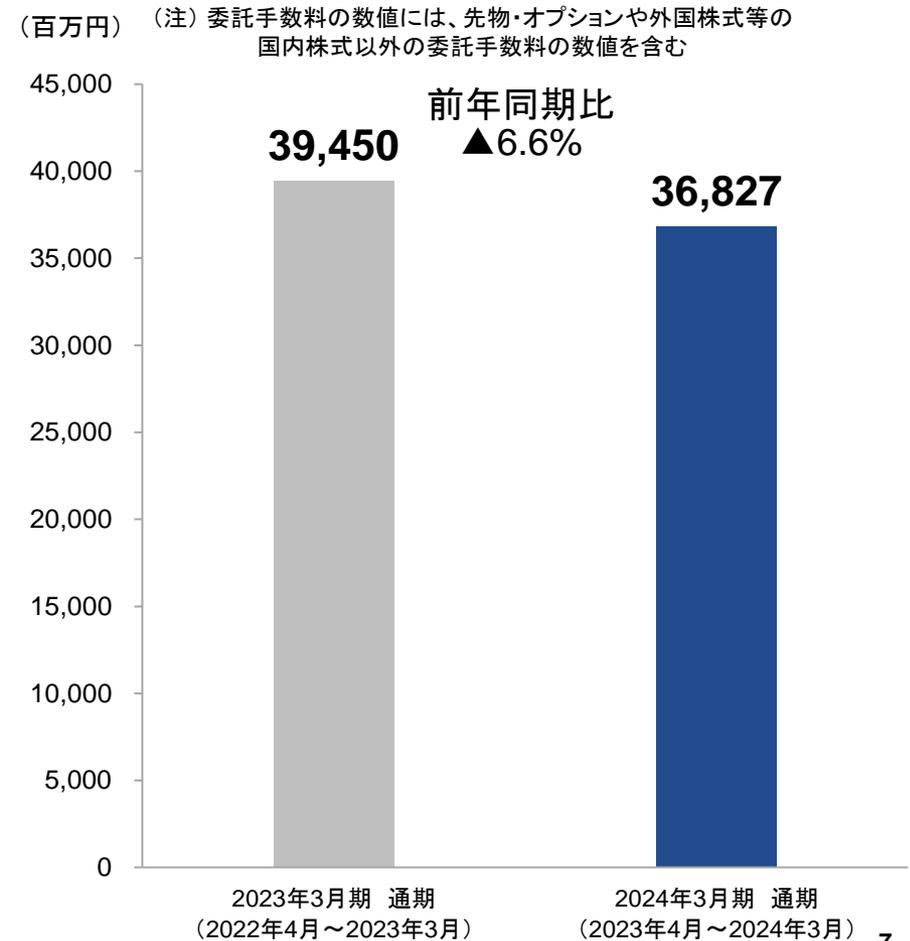
出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社集計

委託売買代金と委託手数料の動向

＜国内株式委託売買代金＞



＜委託手数料＞

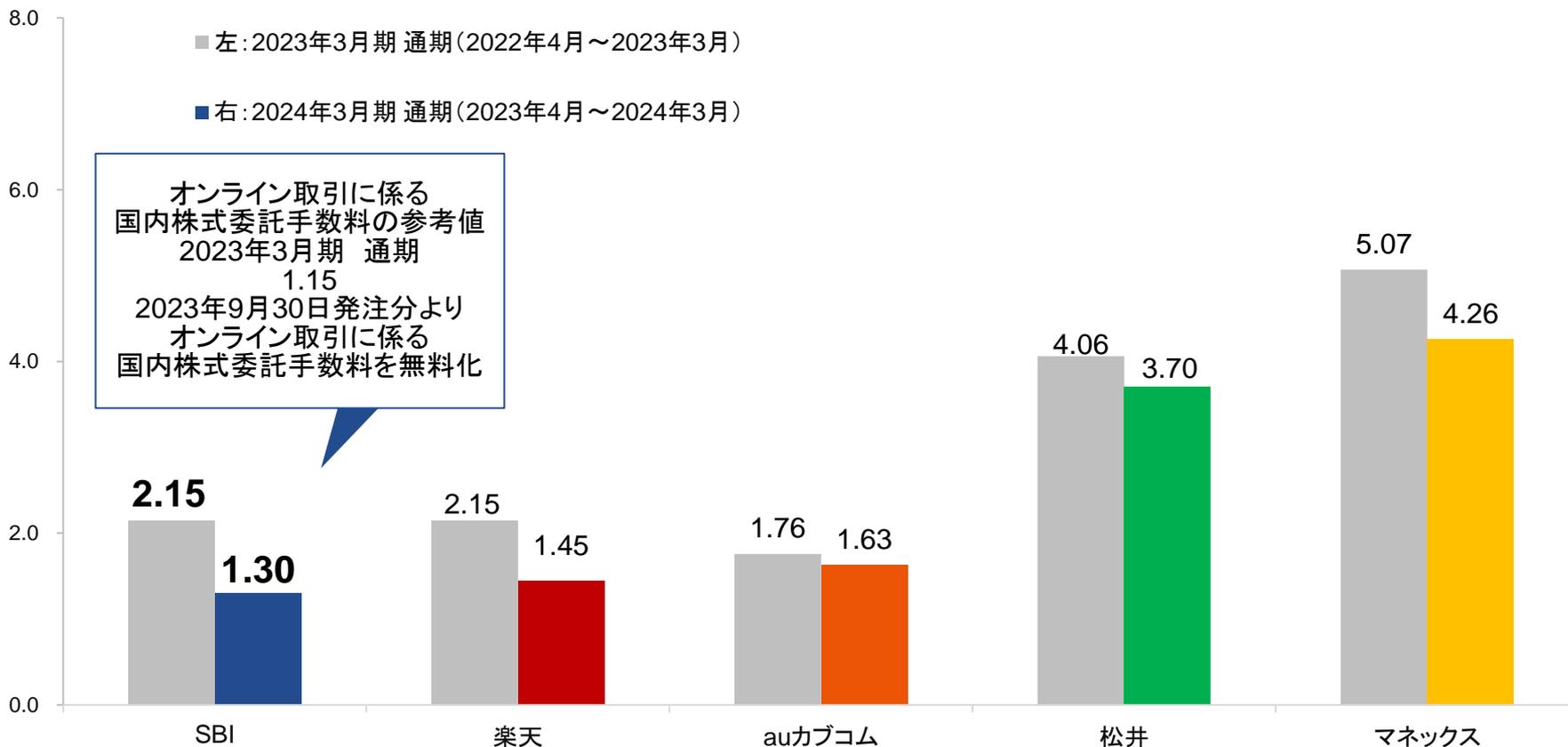


主要インターネット証券のベースス比較

(委託手数料 ÷ 委託売買代金)

(注) 委託手数料の数値には、先物・オプションや外国株式等の国内株式以外の委託手数料の数値を含む

(ベース)



オンライン取引に係る
国内株式委託手数料の参考値
2023年3月期 通期
1.15
2023年9月30日発注分より
オンライン取引に係る
国内株式委託手数料を無料化

主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、auカブコム証券、マネックス証券、松井証券
※ マネックスの数値は、マネックス証券を含むマネックスグループ「日本セグメント」委託手数料の数値を使用

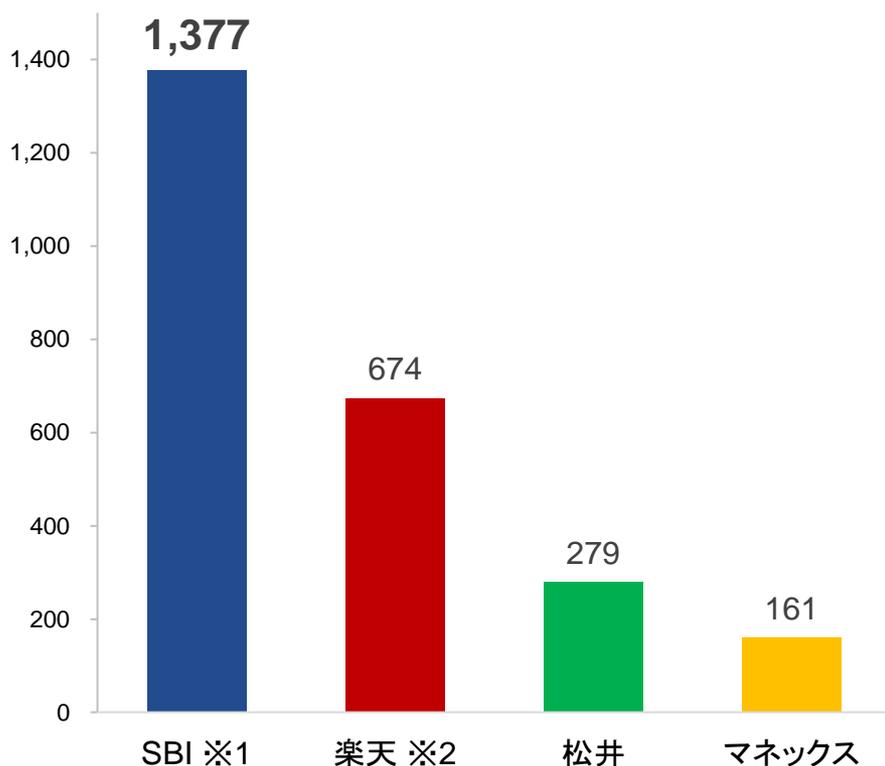
出所: 各社決算資料、月次開示資料等より当社作成
委託手数料は決算短信より数値を使用

主要インターネット証券の信用取引口座数比較

<主要インターネット証券の信用取引口座数>

(2024年3月末時点)

(千口座)



※1 SBIの口座数には、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の口座数を含む

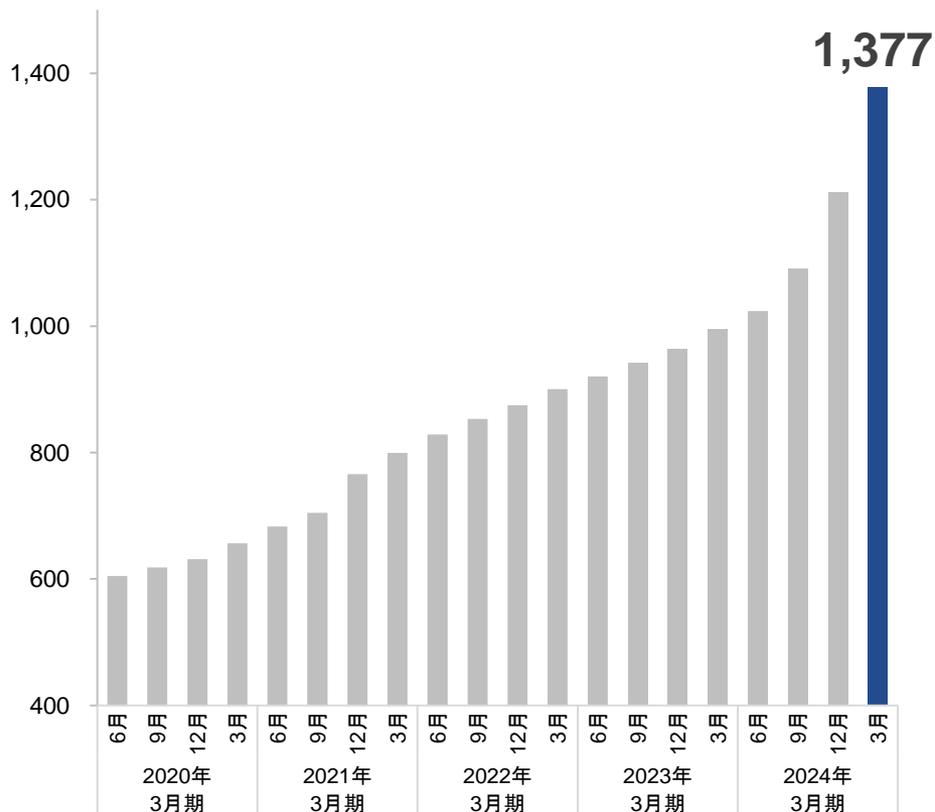
※2 楽天証券は2023年12月末の数値

データを開示している楽天証券、マネックス証券、松井証券及びSBI証券の4社の数値を比較

<信用取引口座数推移> ※1

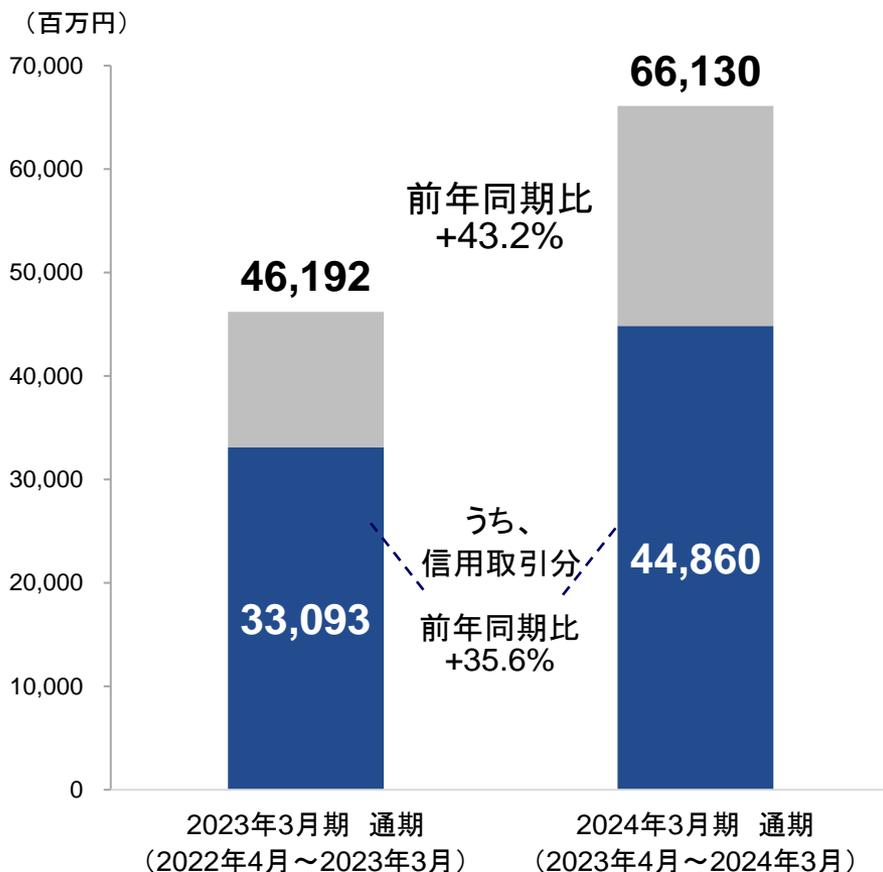
(各月末時点)

(千口座)

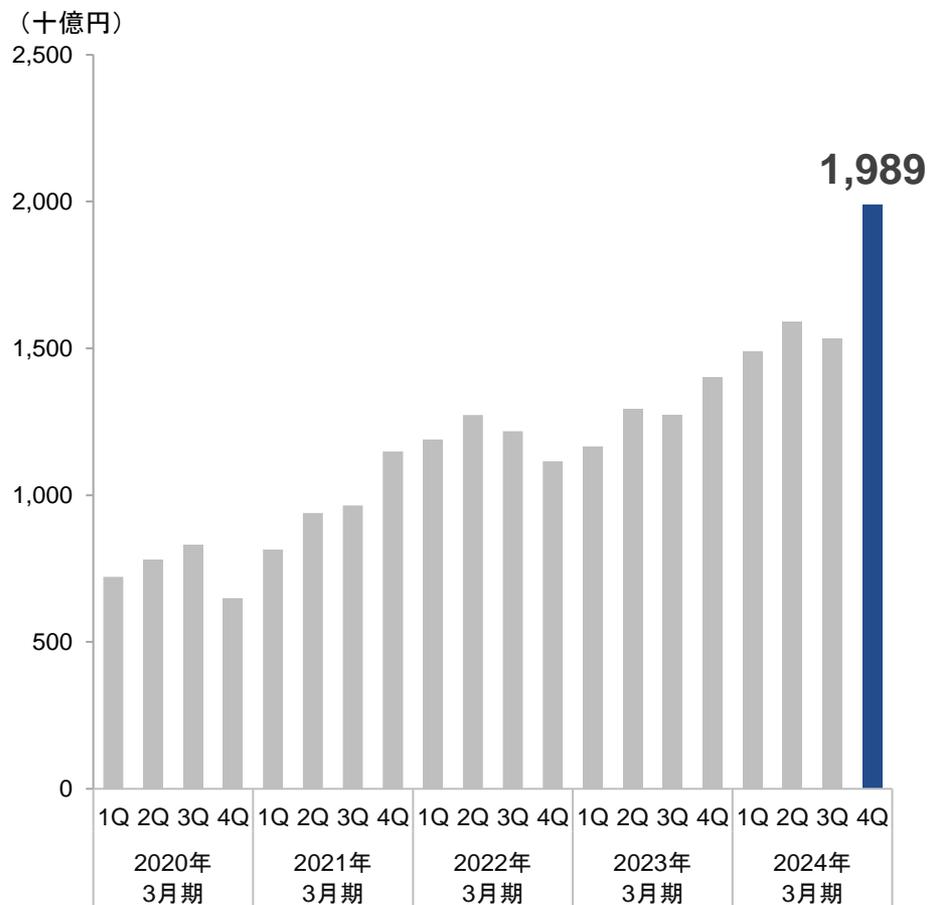


金融収益と信用取引建玉残高の推移

<金融収益>



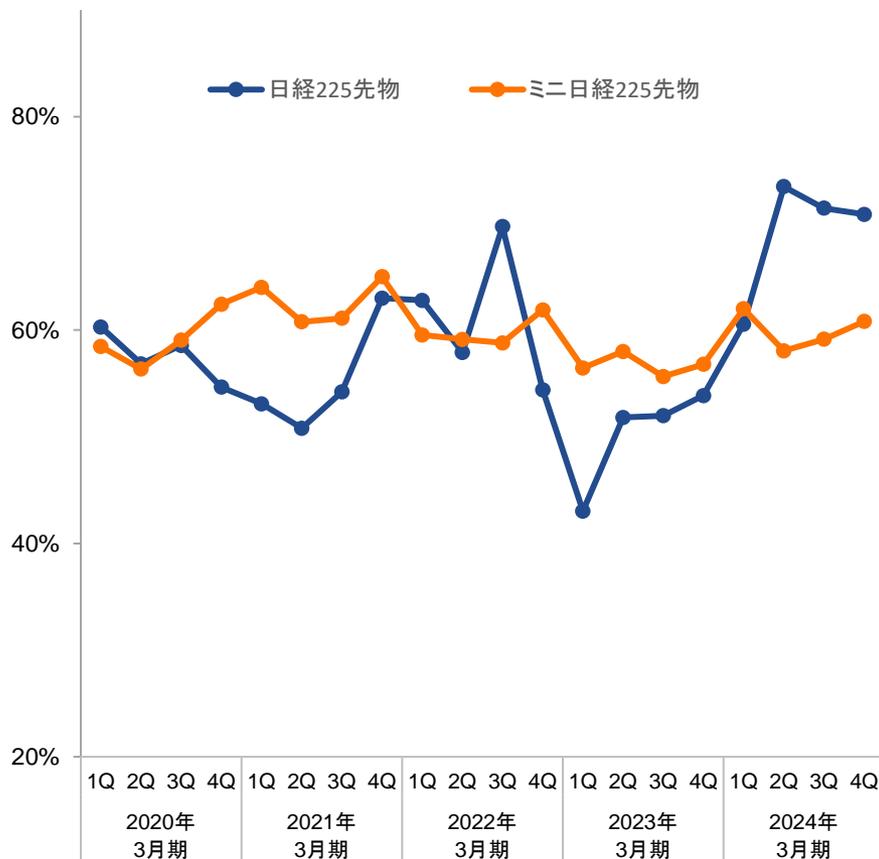
<信用取引建玉 月末残高の推移>



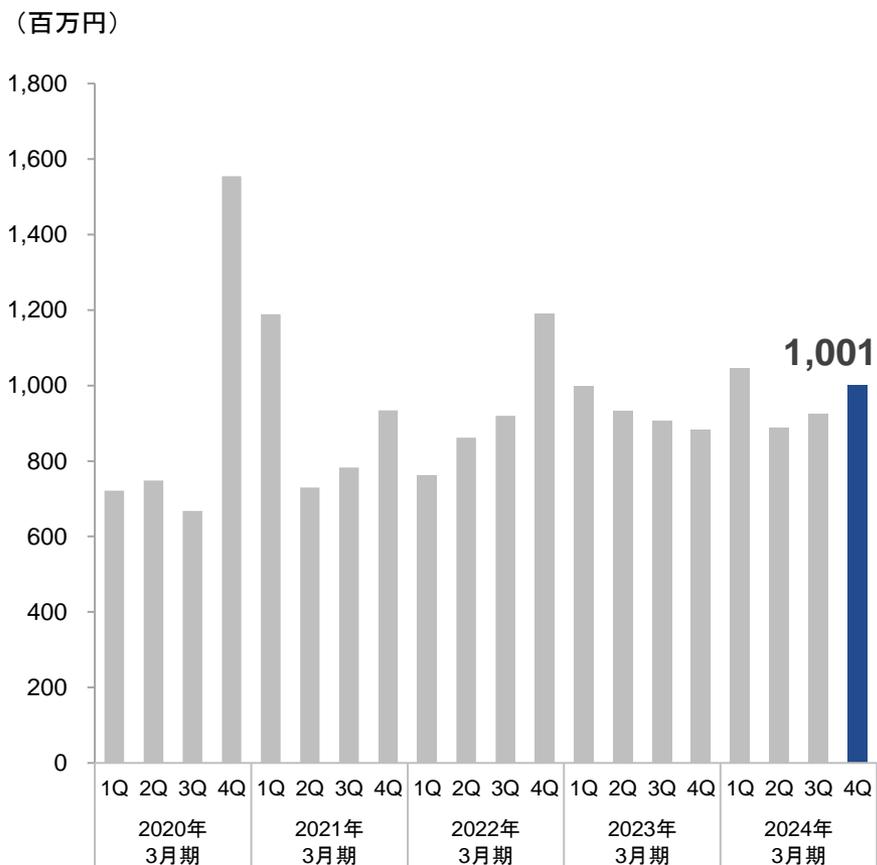
先物・オプション売買代金シェアと手数料の推移

- 先物・オプションの委託個人売買代金シェアは、引き続き高水準を維持。

<先物・オプション 委託個人シェア>

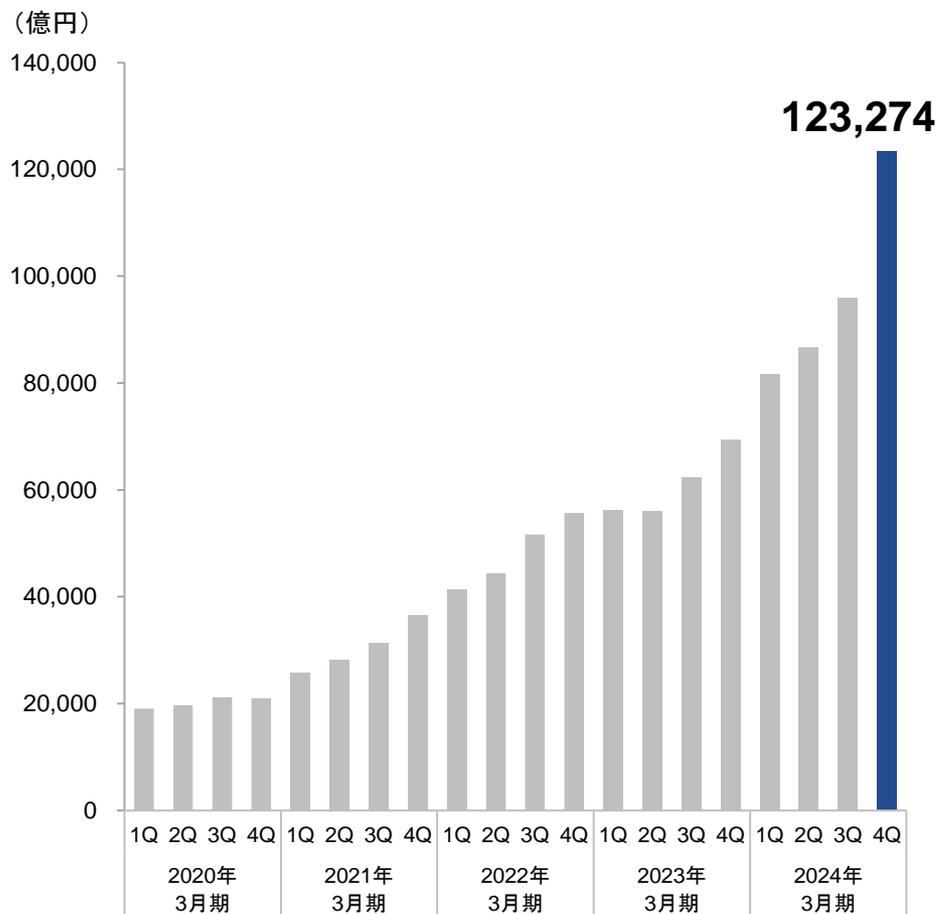


<先物・オプション収益>

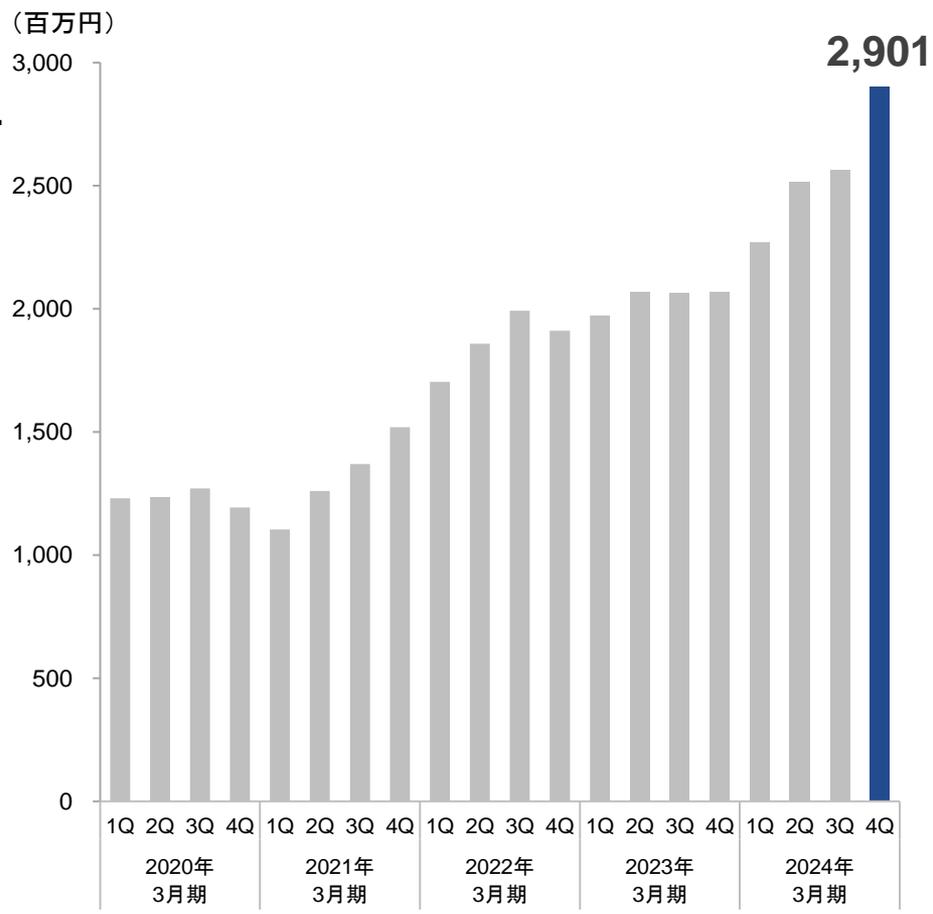


投資信託残高と信託報酬の推移

<投資信託 四半期末残高>



<投資信託 信託報酬額>

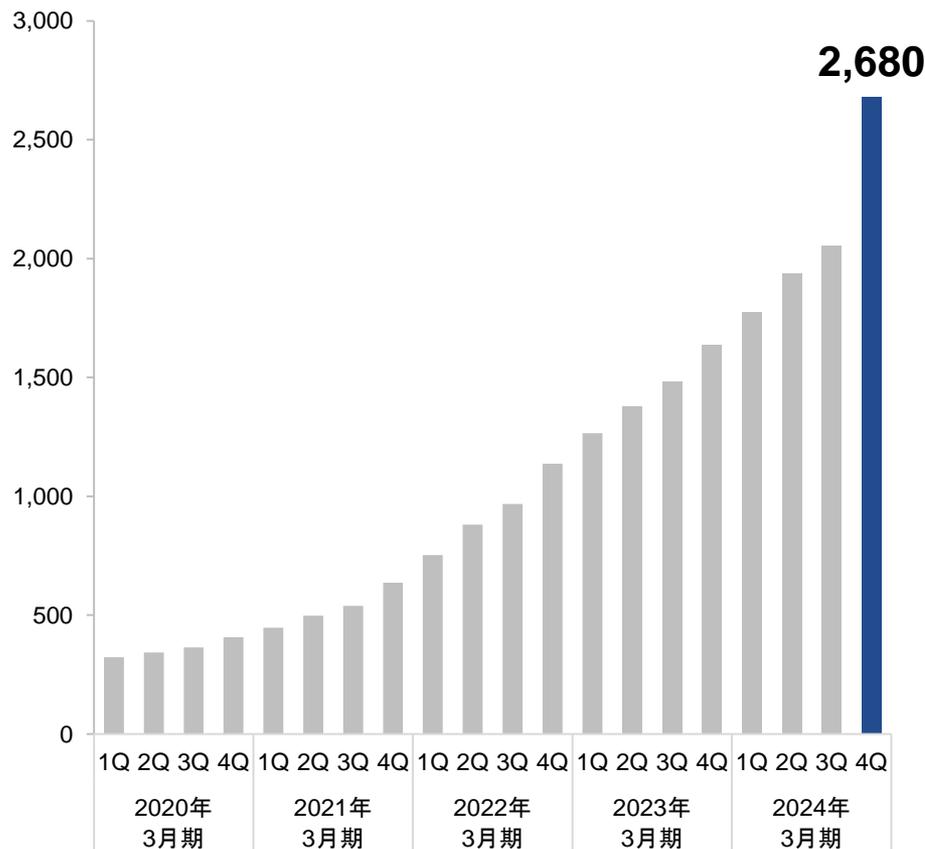


※国内外ETF、外貨建てMMFを含む

投信積立設定口座数・金額の推移と取扱商品状況

< 投信積立口座数の推移 >

(千口座)

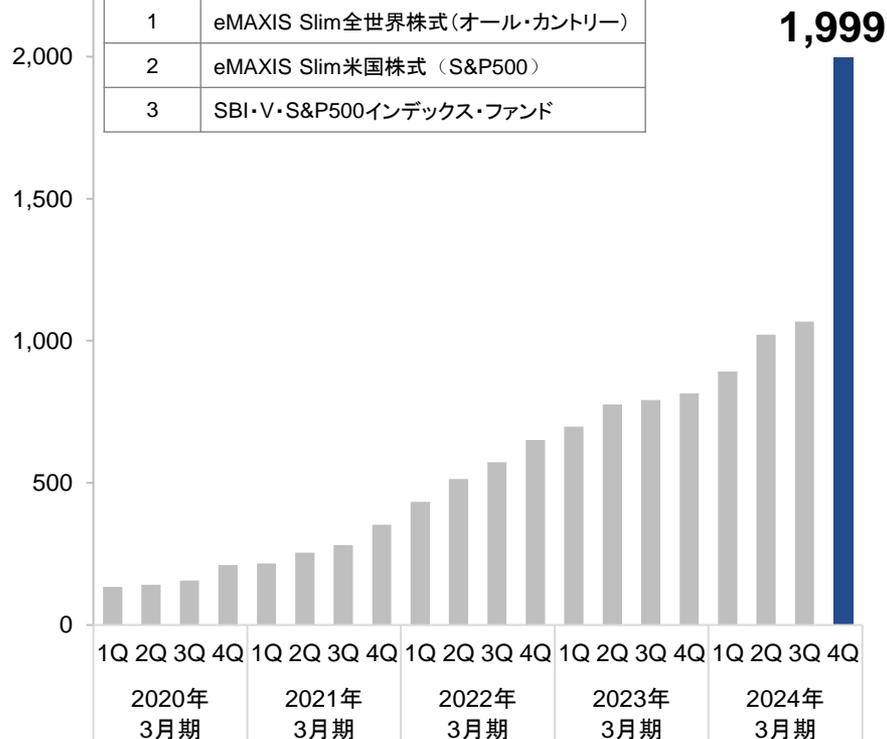


< 投信積立金額の推移 >

(億円)

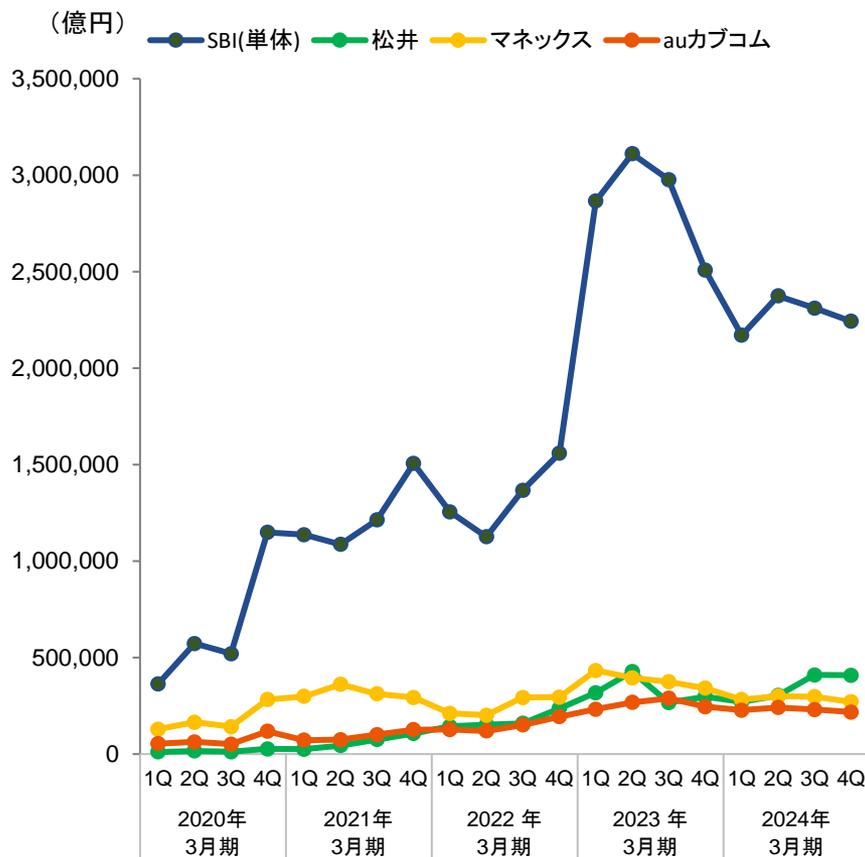
< 売れ筋ファンド-積立設定金額上位銘柄 >
(2024年3月末現在)

No	銘柄名
1	eMAXIS Slim全世界株式(オール・カントリー)
2	eMAXIS Slim米国株式(S&P500)
3	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド

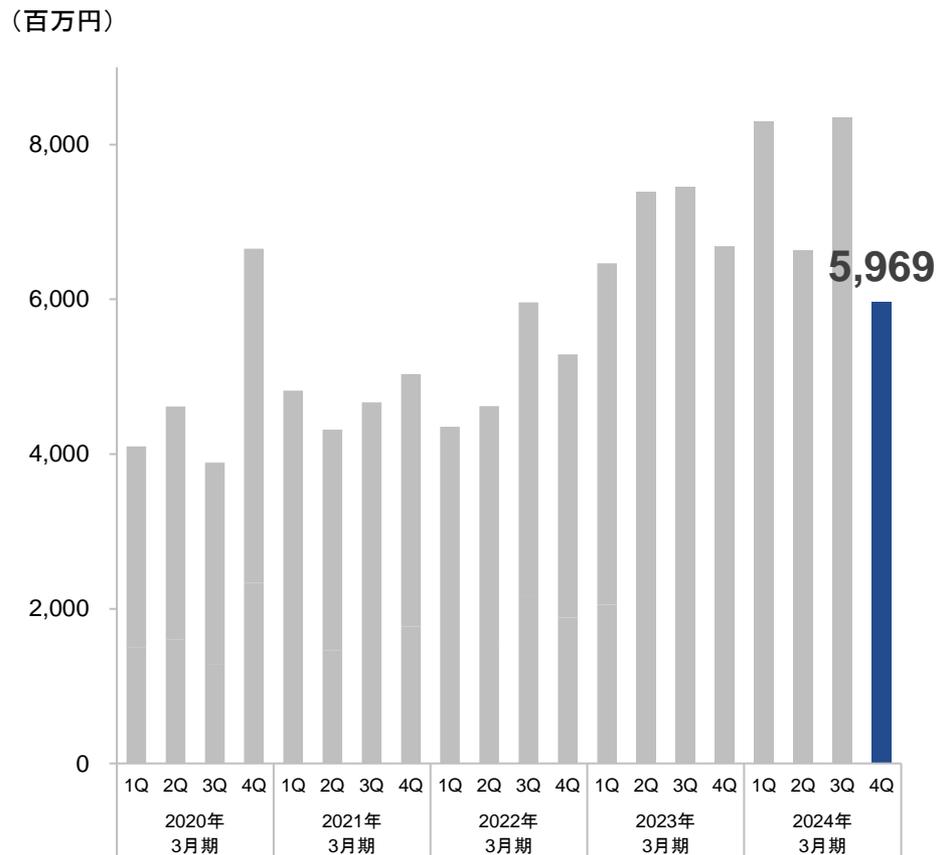


FX売買代金と収益推移

<主要ネット証券 FX売買代金推移>



<FX収益推移>



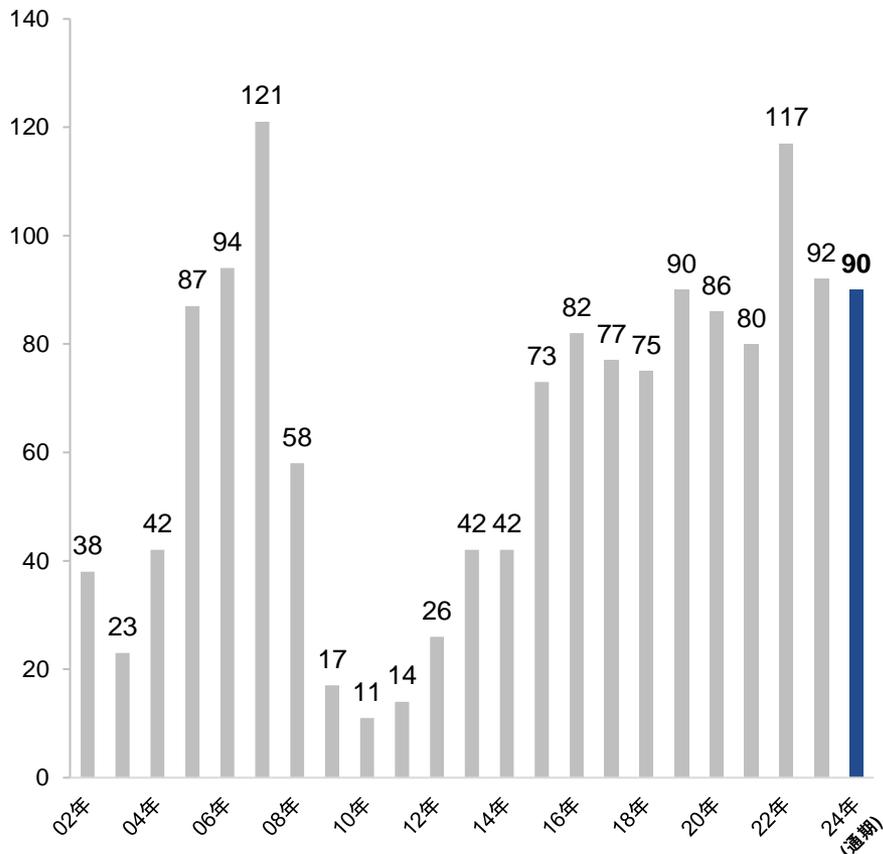
※ データを開示しているマネックス証券、松井証券、auカブコム証券およびSBI証券の4社の数値を比較

新規公開株式(IPO)の引受実績

- 2023年4月から2024年3月までの上場会社数は99社。
- 同期間のSBI証券引受関与率は90.9%と引き続き業界トップ。

<IPO引受実績>

(引受社数)



※業者委託は含まない、上場日ベース、委託販売・不動産投信を除く
 ※TOKYO PRO Marketを除く数値にて集計

<IPO引受社数ランキング(2023年4月~2024年3月)>

社名	件数	関与率
SBI	90	90.9%
松井	67	67.7%
楽天	62	62.6%
日興	62	62.6%
マネックス	56	56.6%
岡三	50	50.5%
みずほ	47	47.5%
野村	41	41.4%
大和	41	41.4%
岩井コスモ	40	40.4%

※集計対象は新規上場企業の国内引受分で、追加売出分と海外は含まず
 ※引受関与とは、自社の主幹事案件含む引受銘柄数
 ※各社発表資料より当社にて集計

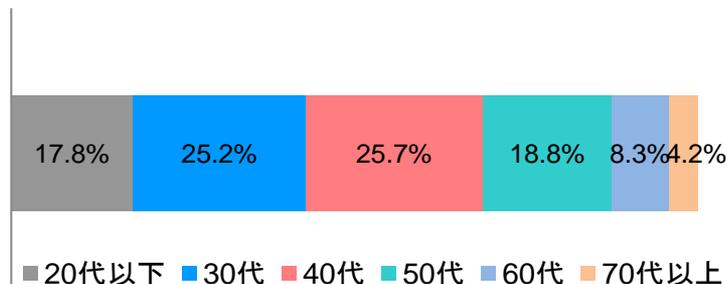
NISA口座の状況

<NISA口座数(2024年3月末累計)>

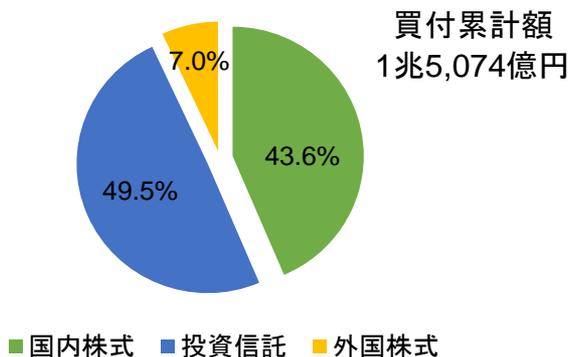
口座数	476万口座
-----	--------

※上記数値はNISA、つみたてNISAの合算値

<年代別(2024年3月末)>



<買付商品の内訳(2024年1月~3月累計)>



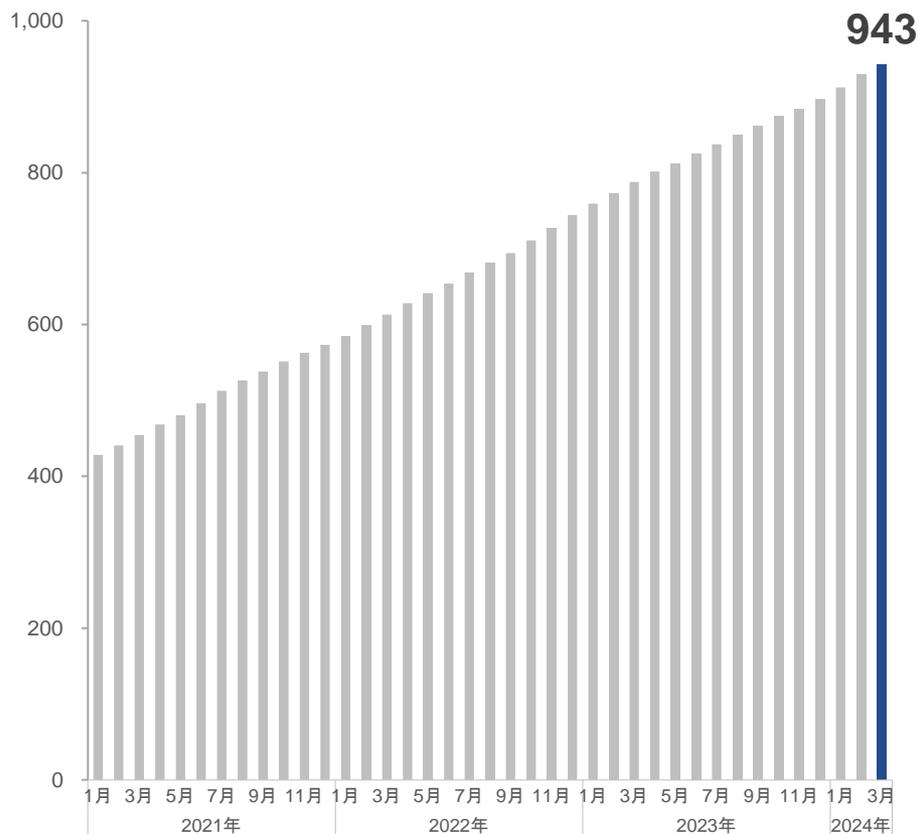
<国内株式買付金額上位銘柄(2024年1月~3月累計)>

No.	銘柄名(銘柄コード)
1	日本たばこ産業(2914)
2	日本電信電話(9432)
3	三菱UFJフィナンシャルグループ(8306)
4	KDDI(9433)
5	アステラス製薬(4503)
6	三菱商事(8058)
7	トヨタ自動車(7203)
8	武田薬品工業(4502)
9	日本製鉄(5401)
10	オリエンタルランド(4661)

iDeCo口座数・残高の推移

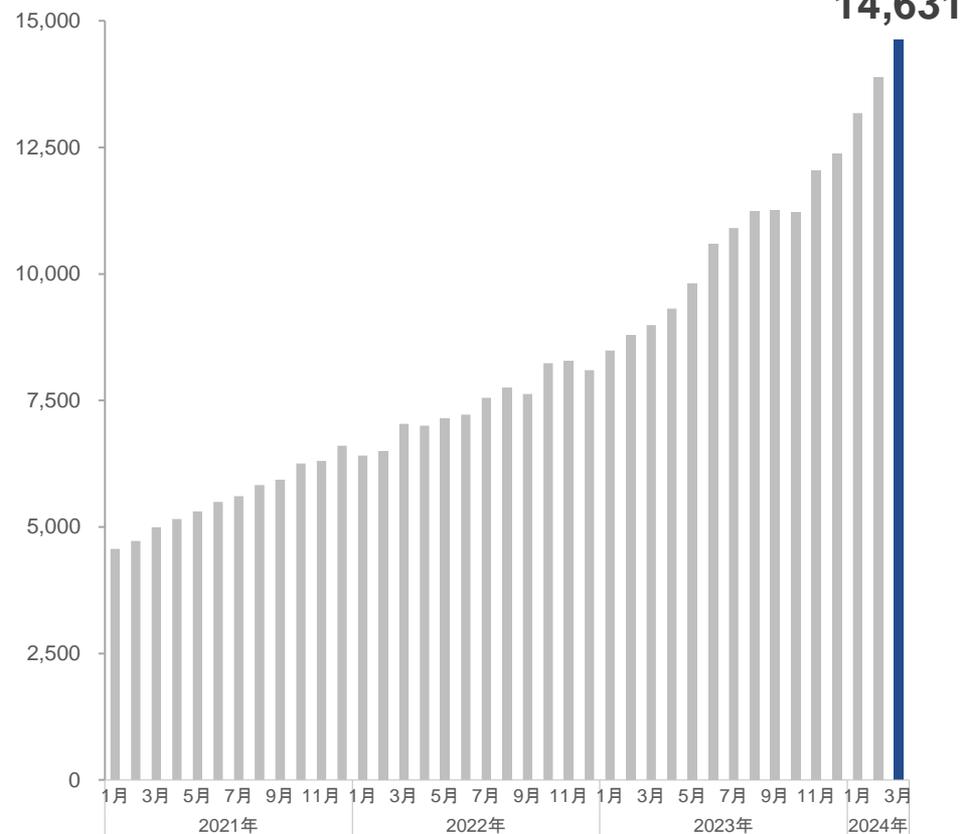
<iDeCo口座数の推移>

(千口座)



<iDeCo残高の推移>

(億円)



※加入者・運用指図者の合計
 ※出所：国民年金基金連合会

※残高は当社集計

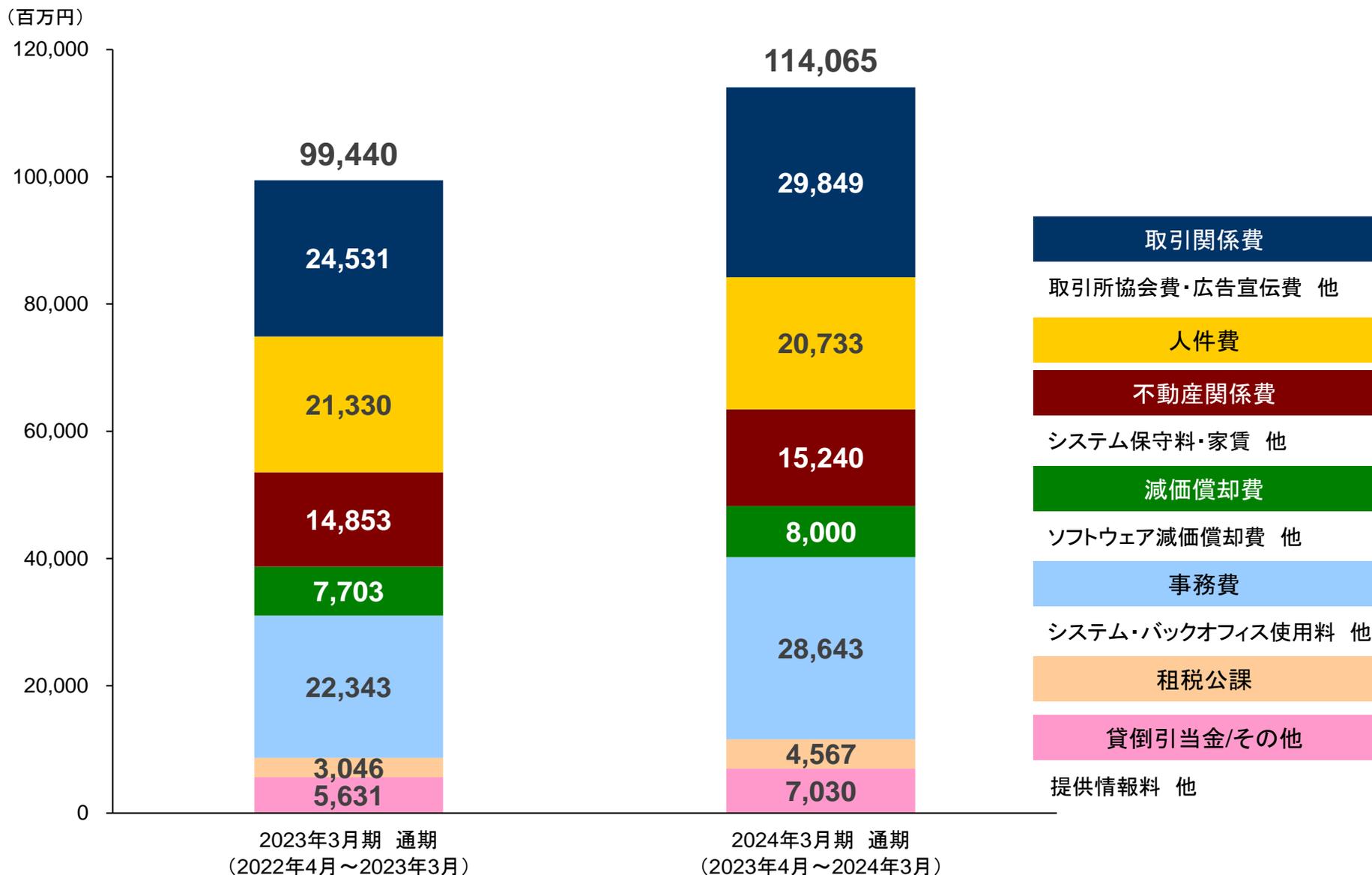
2024年3月期 通期の主な取り組み

実施時期	取組み内容
2023年 4～6月	<ul style="list-style-type: none"> • “タツノコプロ×SBI証券コラボ”WEB CM 4月3日配信開始(4月) • SBI新生銀行との自動入出金サービス「SBI新生コネクト」の開始(4月) • 米国株価・米国株価指数を全面リアルタイム化 すべてのお客さまに無料で提供(4月) • 株式会社北洋銀行との金融商品仲介業サービス開始(4月) • 「SBIヒートマップPlus」提供開始(4月) • 「日経225マイクロ先物」「日経225ミニオプション」取扱い開始(5月) • オリコカードでのクレジットカード投信積立サービス「オリコ投信積立」開始(5月) • 株式会社大光銀行との入金サービス「大光銀行 リアルタイム入金」提供開始(5月) • 株式会社愛媛銀行によるSBI証券の個人型確定拠出年金(iDeCo)の紹介開始(5月) • 「SBI FXα」ポイントプログラム開始(6月) • 「SBI新生銀行・SBI証券の同時口座開設申込」受付開始(6月)
2023年 7～9月	<ul style="list-style-type: none"> • 「SBI証券のiDeCo」での「DC Doctor」の提供を開始(7月) • 「SBIラップ 匠の運用コース」の提供を開始(7月) • 本邦初、米国株英語ニュース自動翻訳サービスを開始(7月) • TOKYO PRO MarketのJ-Adviser資格を取得(8月) • 「日経225マイクロ先物」「日経225ミニオプション」の手数料の引き下げ(8月) • 投資初心者向けの新サービス「はじめて信用™」の提供を開始(8月) • 国内主要証券初、TポイントとPontaポイントで「国内株式(現物)ポイント投資」サービスを開始(8月) • 主要ネット証券初、条件達成で米国株式信用取引手数料が無料(0ドル)になる大口優遇プログラムを開始(9月) • 国内株式の売買手数料無料化(「ゼロ革命」)を実施(9月) • 「ゼロ革命」の第2弾として、新NISAにおける米国株式および海外ETF売買手数料の無料化を決定(9月)

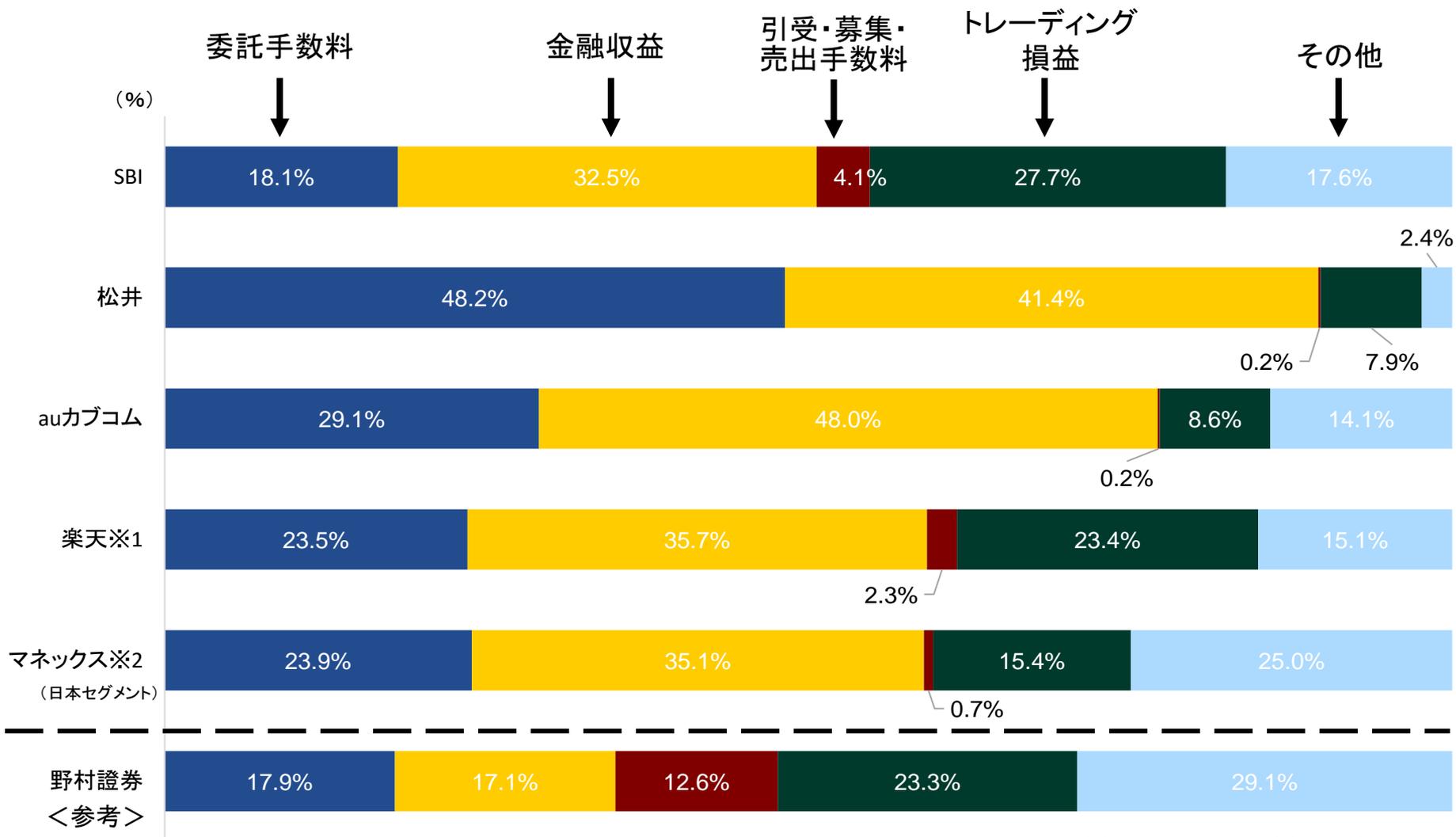
2024年3月期 通期の主な取り組み

実施時期	取組み内容
2023年 10～12月	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども向け社会体験アプリ『ごっこランド』で「かぶすごろく」ゲームの提供を開始(10月) • WEBサイトでの操作とカスタマーサービスセンターへのお問い合わせをシームレスにつなぐサポートサービスの提供及び新たに2拠点の稼働開始といったお問い合わせ窓口サービスの拡充を実施(10月) • 「第26回企業電話対応コンテスト」の「会長賞」受賞及び「シルバーランク企業」に認定(10月) • SBI FXα(外国為替保証金取引)6通貨ペア追加を実施(10月) • SBI新生銀行間で「リアルタイム外貨入金・外貨出金」「米ドル定期自動入金サービス」を開始(11月) • 米国Raymond James社とのリサーチの相互利用及び機関投資家向け営業業務での提携を開始(11月) • セキュリティトークン「いちご・レジデンス・トークン」を販売(11月) • 「ゼロ革命」第3弾として、リアルタイム為替取引における「米ドル/円」の為替手数料の無料化を実施(12月) • SBI証券のポイントサービスに「PayPayポイント」を追加(12月) • ODXのPTS「START」を通じたSTセカンダリ取引を開始(12月) • 「ROBOPRO for SBI証券」サービスを開始(12月)
2024年 1～3月	<ul style="list-style-type: none"> • さまざまな広告主が提供する割引クーポンの受取や米国株式の投資情報の閲覧が可能な「米株クーポン」サービスの提供を開始(1月) • 株式会社青森銀行との入金サービス「青森銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(2月) • 人工知能(AI)を活用した公募投資信託「ROBOPROファンド」のインターネットコースでの取扱いを開始(3月) • クレカ積立上限額10万円へ引き上げ(3月) • 無担保ローンサービス「SBIマネーアシスタント」を開始(3月) • 「TOPIX先物」「ミニTOPIX先物」「JPX日経400先物」手数料の引き下げを実施(3月) • 「三井住友カード つみたて投資」の積立設定金額が500億円を突破(3月)

販売費・一般管理費の内訳



主要インターネット証券各社 2024年3月期 通期営業収益構成比



出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

※1 楽天証券の数値は、2018年度より12月決算に変更しており、上記は同社公表の2023年4月～2024年3月の期間での数値を使用

※2 マネックスグループの数値は、マネックス証券を含む「日本セグメント」の数値を記載

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

<金融商品取引法等に係る表示>

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号 関東財務局長（金商）第44号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、
日本商品先物取引協会